

平成 27 年 11 月 4 日

# さくら通信(11月号)

長崎県立佐世保中央高等学校定時制夜間部

三課程合同文化祭も無事に終了し、年末までの大きな行事は第3回考査を残すだけとなりました。今月は人生の達人セミナーや薬物乱用防止教育など、普段聞くことができないような貴重な話を聞く機会がありますので、講話の内容や感想など、ぜひご家庭でも話し合ってみてください。

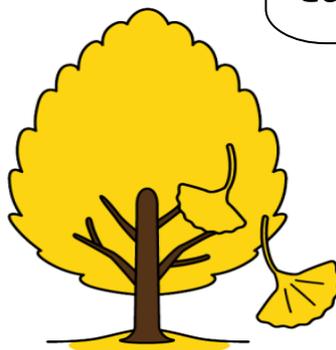
日中はまだ暖かいです、朝夕は肌寒く感じるようになりました。特に夜間部の生徒が学校生活を送る時間帯は冷えますので、体調管理に気をつけて過ごしてもらいたいと思います。

## 11月の主な行事

11月 2日(月)	開校記念日
4日(水)	避難訓練
8日(日)	珠算・電卓実務検定
13日(金)	薬物乱用教室
18日(水)	人生の達人セミナー
〃	考査時間割発表
22日(日)	全国生活体験発表大会
〃	ビジネス文書実務検定
25日(水)~30日(月)	第3回考査
30日(月)	喫煙防止教室
〃	頭髪服装検査



テストがあるから、  
時間を見つけて勉強  
しよう!



## 県生活体験発表大会に関する情報

10月4日(日)、佐世保市コミュニティセンターホールで平成27年度長崎県高等学校定時制・通信制生徒生活体験発表大会が行われました。県下の定時制・通信制の各校から選ばれた代表生徒15名が、それぞれの思いを発表しました。

本校夜間部代表の岩橋さん(3A)と案納さん(1A)もステージでこれまでの「経験」や「思い」などを発表し、観客の皆さんに感動を与えました。

そして、岩橋さんは最優秀賞を受賞し、長崎県代表として、11月22日(日)東京で行われる全国大会へ出場することになりました。

みなさん、応援しましょう!

祝  
全国大会出場!

## 文化祭が開催されました!

10月18日(日)、本校の夜間部・昼間部・通信制の三課程合同の文化祭「中央祭」が行われました。昼間部・夜間部のPTAによるおいしいうどんやカレーライスなどの食物バザー、通信制生徒会によるデジタル紙芝居、昼間部音楽選択者と生涯学習のコーラス講座受講生による合唱など他課程のすばらしいステージ発表や展示発表など、そして、それに負けないくらいの夜間部各クラスの展示発表があり、充実した文化祭でした。

来年度も、PTAバザーのお手伝いをよろしくお願いします。



## 安全運転実技講習会 & 交通講話が開催されました！

10月6日(火)に原付の免許を所有している生徒対象に安全運転実技講習会が行われました。その実技指導の内容は、急制動・直列パイロン・千鳥・ナロー・遅乗りなど自動車学校の指導員の方より、該当の生徒のみなさんは授業以上(?)に指導を真剣に受けていました。

免許を持っていない生徒のみなさんは佐世保警察署より、交通に関する重要な講話を聞き、今一度、交通安全について考え直し、交通の危険性やマナーの大切さをしっかり考え直しました。



生徒指導部より

# 交通事故に気をつけよう！

本校の生徒がバイク事故で亡くなって7年が経ちました。夜間部の生徒・職員一同は、亡くなった先輩のご冥福をお祈りし、交通事故ゼロへの思いを新たにしなければならないと思います。

また、原付免許の無断取得や手続きミスなどがないようにしましょう。運転免許を所有している生徒の皆さんは、くれぐれも安全運転に心がけてほしいと思います。また、今後、運転免許を取得しようと思っている人は、必ず所定の手続きを済ませて取得してください。

本校夜間部における運転免許の取得条件について、再度確認しておきたいと思います。

### 〈原付免許の取得〉

- 免許は、原付免許(50cc)のみ許可をする。その際「原付免許取得許可願い」を提出し、許可を受けてから受験する。50ccを超える排気量の免許の取得は認めない。
- 原付バイクでの通学を希望する場合は、別途「原付通学許可願い」を提出し、許可を得てから通学する。その際、必ず任意保険に加入することを条件とする。
- 通学に使用するバイクの改造は禁止する。

### 〈普通自動車運転免許の取得〉

- 卒業年次の夏休み以降、自動車学校への通学を許可する。その際、「自動車学校通学許可願い」を提出し、許可を得てから通学する。
- 自動車学校卒業後、免許の取得は認めるが、原則として本校を卒業するまでは運転しないこととする。

何か分からないことがあれば、生徒指導部に相談してください。



就職試験はひと段落して今年もますますの滑り出しです。これからは、進学希望者の受験が始まります。指定校推薦や一部の推薦入試はすでに終了し合否待ちの状態です。

今年は進学希望者が半数以上で、受験生のそれぞれが受験勉強や受験対策に大忙しの毎日です。これからさらに忙しくなりますが、受験生は体調を崩さないよう万全を尽くして受験に臨んでほしいものです。

さて、進路指導部では1年生を対象に11月9日(月)・16日(月)の総学の時間を利用して進路ガイダンスを実施します。この機会に自分の進路をしっかりと考え早め早めの進路対策をするようにしてください。また、3・4年生を対象として上記の期日に「労働条件について」・「租税教室」とこれから卒業後に大変役立つ講演会を予定しています。社会人として必要な知識を身につけてください。進路指導部では皆さんの進路達成を応援しています。進学・就職で疑問に思ったことはいつでも相談に来てください。

十一月四日

(水)

うだがわ



アフリカで年間数千万人が感染し、重症化すると失明に至る感染症オンコセルカ症の特効薬「イベルメクチン」の発見と開発で、今年、ノーベル賞「医学・生理学賞」を受賞した、大村 智 北里大学特別栄養教授(80歳)のインタビューの一部です。

科学者として最高の榮譽にも「本当に私がこのような賞を頂いていいのかなという思いがあります」と謙虚な姿勢を貫いた。「私の仕事は微生物の力を借りているだけであって、私自身が難しいことをやったりしたわけじゃない。正直言って、微生物がやってくれた仕事を整理したようなもの。」

幼少期は、祖母から「とにかく人のためになることを考えなさい」と繰り返し聞かされて育った。

東京都立墨田工業高校定時制の教師のとき「夜間の工業高校だから、近辺の工場から仕事を終えて駆け込んで勉強する人がほとんど、あるとき期末試験の監督をしていると、飛び込んできた(生徒の)一人が手に油がいっぱいついていて。私は一体何なんだ。ショックだった。もっと勉強しなきゃいかん。本当の研究者になろうと思った。」

記者会見場に詰めかけた多くの学生に失敗を恐れないように説いた。

「やったことはだいたい失敗するわけでしょう。思ったよりはるかに難しかったり、うまくいかなかったり、しかし、そのうち5回6回7回やっているうちに、びっくりするくらい上手にいくときがある。その味を味わうと、あと何回失敗しても怖くない。それが、研究の楽しさですよ。1回失敗してもそれでだめだと思ったらだめですね。失敗したからよかった。これは絶対に役に立つと思いつながりながら続けることが大事ですよ。」

最後に「成功するためには、人との出会いを大事にすることが大切です。一期一会ということばがありますが、人とのつきあいを大事にするかしないかでは大きな差がでる。」「袖触れ合う縁も生かす人、それが成功のもとです。」と激励のことばを送った。